

公表

事業所における自己評価総括表

○事業所名	陽だまり		
○保護者評価実施期間	令和8年1月13日		～ 令和8年1月23日
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	16	(回答者数) 13
○従業者評価実施期間	令和8年1月13日		～ 令和8年1月23日
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	8	(回答者数) 8
○事業者向け自己評価表作成日	令和8年2月3日		

○ 分析結果

	事業所の強み(※) だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	事業所内の環境や体制について。	場面に応じ、活動スペースを分けたり変えたりして、子どもにわかりやすい環境の設定を行っている。職員を多めに配置し、子ども1～2人に対し職員が1人つけるような体制を整えている。	次年度、利用人数の増加が見込まれているため、部屋を分けて活動を行う等、環境をうまく活用できるよう工夫していく。
2	職員の専門性、活動プログラムの工夫など、支援の提供について。	有資格者や経験年数の長い職員が多く、専門的な支援提供ができる。活動プログラムも、職員が交代で考案しており、内容の固定化を防ぐ工夫をしている。	より専門的な支援の提供を行えるよう、研修を行ったり個別で関わる機会を増やしたりしていく。
3	日頃のこどもの様子や活動の共有。	送迎時に口頭で伝えるだけでなく、連絡帳アプリを利用し、日々の様子を共有できている。個人情報に配慮しながら、文章と写真の添付により、支援内容等の状況把握がしやすいよう工夫している。	継続して連絡帳アプリの活用、送迎時の申し送り、面談時の情報共有を密に行う。

	事業所の弱み(※) だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)や、家族等も参加できる研修会の機会の提供。	家族支援プログラムは、面談時や相談があったときのみ実施しており、事業所からの積極的な働きかけはできていない。家族等が参加できる研修会等の機会は、事業所内での設定が難しい。	家族支援については、必要に応じて対応しているが、要望があれば各家庭への介入を検討する。研修会について、事業所内では実施が難しいため、各自治体からの通知を家庭に周知できるよう努める。
2	保護者同士の交流の機会。	令和7年度は、1度保護者交流の場を設けることができた。都合により参加が難しい家庭もあった。	継続して保護者交流の場を設ける。早めにお知らせを配布し、日程調整がしやすいよう配慮する。
3	非常時の対応マニュアルの周知・説明、訓練について。	契約時に各マニュアルを作成、掲示している旨を伝えているが、他にも周知事項が多く印象に残りづらいと考えられる。訓練も連絡帳アプリでの報告のみになってしまい、不足していると考えられる。	定期的にマニュアル内容の見直しをし、掲示場所の通達をする。訓練の通知について、予定の周知、実施の報告を行う。